

「STOP!いじめ」紙芝居

< 1 枚目 > みんなでバスに乗りキャンプに出発



いじめは些細なことがきっかけで起こります。

④ みなさん、スーパーボールって知っていますか？
こんな感じで、よく跳ねるボールです。【実演】
今からのお話は、このスーパーボールのキャラクター、
「スーパーボールちゃん」が主人公のお話です。
さあ、眠たい人は目をパチパチして、
背中がかゆい人は背中をポリポリかいてから。
それでは、紙芝居の始まりです【拍子木たくさん】

⑤ 『とびだしたスーパーボールちゃん』
みなさん、三重県にあるボール村を知っていますか？
この村では、ボールの子どもたちが仲良く遊んでいます。
ある日、ボール小学校は、キャンプに行くことになりました。
もちろん、みんなは大喜び！
スーパーボールちゃんもウキウキしています。
みんな、バスに乗りました。さあ、キャンプにむけて出発進行！

< 2 枚目 > バスの中で大騒ぎ



みんなが自分勝手なことを言い合うことで、いじめが起こります。

⑥ バスの中はいろんなボールたちでいっぱいです。
みんなが座ろうとするので、バスの中は大騒ぎ。

⑦ 「ちよつと押すなよ」
⑧ 「お前がどけよ」
⑨ 「おい、痛えよ」

⑩ みんなが押し合うので、バスはグラグラゆれています。
スーパーボールちゃんは小さいので、
バスのゆれでふらふらしていました。
その時、「ガタン」と大きなゆれが……。
スーパーボールちゃんは、とうとうイスから落ちて、
ポンポンと、はずんでしまいました。

< 3枚目 >嫌なことを言われる



主人公と友だちがどのような気持ちだったかや、どのようにすべきだったかを考えます。

㊸ 「運転手さん！スーパーボールちゃんが窓から飛び出しました。」

㊹ 「キヤアーーーーーッ」

㊺ スーパーボールちゃんが止まらないことを知らない他のボールたちは怒って、
とうとう、スーパーボールちゃんを窓から押し出してしまいました。

㊻ 「いいから止まれって！」
㊼ 「そんなの知るかよ！」

㊽ 「みんな、ちょっと待ってよ！自分で止まらないだもん！」

㊾ それでも、スーパーボールちゃんは、自分で動きを止められません。

㊿ 「ちよつと！スーパーボールちゃん！跳ねないでよ！」
㊿ 「そうだよ、やめてくれよ！ふざけんな！」
㊿ 「おまえ、跳ねすぎて、むかつくんだよ！」【ちよつとキツイことばで】

< 4枚目 >バスの中から飛び出す



嫌な場面から離れることも、自分を守るための一つの方法です。

㊿ スーパーボールちゃんは、ボンボンとはずんでいきます。

㊿ 「どこに行くのかなボンン！」

㊿ 「ここはどこだボンン！」

㊿ 運転手はあわてて叫びました。
スーパーボールちゃんは、みんなにブツブツ言われるより、
外で自由にはずんでいる方が、なんだか楽しくなってきました。

㊿ 「おーい、どこいくんだあーーーーー？」

㊿ キキキッ！ とつぜん、運転手は急ブレーキを踏みました。

㊿ 「なんだって？」【驚いた声で！】

< 5 枚目 > 新たな出会いの始まり



新しい友だちを探したいと思っ
た主人公の気持ちを考えます。

- ① 山をこえ、谷をこえ、スーパーボールちゃんは夫婦岩までやってきました。
- ② 「あらあら、あなたはどこへ行くのかしら？」
- ③ 大きい方の岩がたずねます。
- ④ 「ポンポン飛んではかりないで、ちょっと休んでいきなさい」
- ⑤ と、小さい方の岩が言いました。
- ⑥ 「新しい友達を探してるの！」
- ⑦ 「もう少し、飛んできます！」
- ⑧ スーパーボールちゃんは、また山に向かって、ポンポンとはずんでいきました。

< 6 枚目 > 自分と価値観の違う存在と出会う



それぞれ価値観が違うことにつ
いて考えます。

- ① 「おっ！まるい友達がいっぱいいるぞ！ こんにちはー！」
- ② 「あなたはだれ？おいらはリンゴロウよ」
- ③ 「急にどうしたのよ。私はミカ・オレンジよ」
- ④ 「はじめまして！スーパーボールちゃんです！ どこへでも飛んでいけるよ！」
- ⑤ みんなで自己紹介した後、リンゴロウとミカ・オレンジがスーパーボールちゃんに聞きました。
- ⑥ 「ところで、スーパーボールちゃんも私たちがみたいに木の上で過ごしてみない？」
- ⑦ 「止まっているだけで、ぐんと甘くなるよ！」
- ⑧ 「ごめんなさい！もう少し飛んでいきたいの！また遊びにくるね！」
- ⑨ 「わかった！また、今度ねー」
- ⑩ そうして、スーパーボールちゃんは次の場所へポンポンととんでいきました。

< 7枚目 >嫌なことを言う



何気なく言った言葉が、相手を傷つけることもあります。

㊸ 「ボンポーン」
「ボンポーン」

㊹ スーパーボールちゃんは、ゴルフ場にやってきました。
ゴルフ場では、タコがボールを三つも使ってゴルフをしていました。

㊺ 「なんだ、ありや？」

㊻ タコはびっくりして、ボールを全部変な場所に飛ばしてしまいました。
あんまりへたくそだったので、スーパーボールちゃんは笑って言いました。

㊼ 「タコさん、へたくそね。もっと練習した方がいいんじゃない？」

㊽ タコは怒って顔を真っ赤にして、とうとうゆでだこになってしまいました。
スーパーボールちゃんは、またボンポーンとはねていきます。

< 8枚目 >嫌なことをされる



嫌な時は「やめて」と気持ちを伝えることも大切です。

㊾ 「おつ！うまそうだ！」
スーパーボールちゃんが飛んでいった先は川の中の魚の口。
魚は、

㊿ と、スーパーボールちゃんを食べようとします。

㊿ 「きゃーッ！食べないでー！おいしいボールじゃないわよ！」

㊿ それでも魚はスーパーボールちゃんをペロツと食べました。
もちろん、スーパーボールちゃんはおいしくありません。

㊿ 「うっげーまつざー」

㊿ 「だから、言ったじゃない！」

㊿ 魚はスーパーボールちゃんを口に入れたまま飲みこめませんでした。

< 9 枚目 > 何が起ころかわからない



不幸なことが続く中でも、幸運に巡り合うことがあります。

- ④ 川では、おさるのアンガスが魚釣りをしていました。
- ⑦ 「おっ！魚がかかったぞーチャンス！」
- ⑧ おさるのアンガスは、ヨイショつと釣りざおを引き上げました。
- ⑨ 「わっ、わっ、わっ、あーれー！」
- ⑩ おさるのアンガスが釣った魚は、スーパーボールちゃんが口の中にいる魚でした。釣りざおに引っかけたのは、実はスーパーボールちゃんだったのです。
- ⑪ 「ラッキー！魚の口から抜け出せた！ つて、あれ？止まらな〜い！ひや〜！」
- ⑫ そうして、スーパーボールちゃんはどこか遠くへ飛んでいってしまいました。その頃、キャンプ場についていたボール小学校の子どもたちは、みんなでスーパーボールちゃんをさがしていました。
- ⑬ 「スーパーボールちゃん、どこへ行っちゃたんだろう・・・」
- ⑭ 「もう少しで暗くなっちゃうけど大丈夫なのかな・・・」
- ⑮ 「おいらがどなったのでがいけなかつたんだ。」
- ⑯ みんなは、とっても心配しています。

< 10 枚目 > それぞれに良さがある



誰にでも良さがあるように、自分にも良さがあることに気づきます。

- ⑰ そうして、だんだん空が暗くなると、大きな大きな月があらわれてきました。
- ⑱ 「こんばんは！お月さん！」
- ⑲ 「こんばんは！スーパーボールちゃん」
- ⑳ 「お月さんは大きくてうらやましいな〜」
- ㉑ 月はとてもおどろきました。
- ㉒ 「私はスーパーボールちゃんがうらやましいわ。だって、私はポンポンと飛び跳ねないんだもん。」
- ㉓ スーパーボールちゃんは、ちよつぴりうれしくなりました。すると、山の中にキャンプファイヤーを見つけました。
- ㉔ 「あつ！あれは、みんながいるキャンプ場だ！」

< 1 1 枚目 > みんなのところに帰る



主人公や友だちの心境について考えます。

- ㊦ 「みんな、ただいまー！」
- ㊧ スーパーボールちゃんは、とうとうみんなのところへ帰ってきました。
- ㊨ 「あっ！スーパーボールちゃんが戻ってきた！」
- ㊩ 「もー！心配したんだよ！」
- ㊪ 「きついこと言って、ごめんな。」
- ㊫ スーパーボールちゃんが帰ってきて、みんなは安心しました。
- ㊬ 「ポンポンてね、いろんなところへ飛んでいったんだよ。」
- ㊭ 「さあ、あらためてキャンプの続きをしよう！みんなでカレーを作ろう！」
- ㊮ 「いいね！いっぱい作っちゃおう！」
- ㊯ 「オオツツ！」

< 1 2 枚目 > 思い出がいっぱい



自らの言動を振り返り、いじめについて考えます。

- ㊰ 朝になりました。みんなでバスに乗り込みました。
 - ㊱ 「キャンプ、楽しかったね！」
 - ㊲ 「スーパーボールちゃんが飛び出したときはどうなるかと思っただけ・・・」
 - ㊳ 「カレーも美味しかったね。」
 - ㊴ みんなが言いました。
 - スーパーボールちゃんも、みんなと仲良くにこにこバスに乗っています。
 - ㊵ 「スーパーボールちゃん、すごくうれしそうだけど、何があったの？」
 - ㊶ みんなが気になって、スーパーボールちゃんに聞きました。
 - ㊷ 「うーん、ひ・み・つ！一言では言えない！」
 - ㊸ 「えーっ？すごく知りたくなっちゃうよ！」
- (おしまい)
- ㊹ みんなはバスの中で、キャンプの思い出をいっぱい話しているうちに、疲れ切って眠ってしまいました。